

「福祉切り捨て」を終わらせる ～必要を満たし合うための財政と福祉～



講師：高端正幸氏
(埼玉大学大学院
人文社会科学部准教授)

例年、京都精神保健福祉士協会と日本精神保健福祉士協会京都府支部によるこの協力研修会では、近年国が先導してきているいわゆる共生化施策や地域包括ケアといったテーマを取り上げ、「共生社会とは何なの?」「私たち精神保健福祉士はソーシャルワーカーとして何が出来るの?」、そういったことを考える機会となりました。

ソーシャルワーカーとして「共生社会」ということを考えるとき、「格差と不公正」といった経済的な側面と、「排除と孤立」といった社会的なもしくは関係的な側面から検討できると言われています。しかし普段、私たちは日々の業務やケースに追われる中で、なかなか「格差」などの経済的な側面から社会全体を考える機会が多くはありません。そこで今回は『福祉は誰のために～ソーシャルワークの未来図～』（へるす出版、2019）の共著者であり、昨今ソーシャルワーカーとの対話を続けておられる埼玉大学大学院准教授の高端正幸氏をお招きし、財政学の観点から社会を見つめ、ソーシャルワークについてみんなで考えて、話し合う機会を企画しました。幾分硬いテーマではありますが、貴重な機会となることは必至です。是非ともふるってご参加下さい。

講師の高端正幸氏からのコメントです。

「財源がないから社会保障は抑制せねば」と、私たちは聞かされ続けてきました。その結果が、生きづらさの深まり、そして福祉の理念の形骸化です。根本問題はどこにあるのか。何をどう変えていくべきか。「『自己責任主義と施しとしての福祉』から『脱自己責任主義と必要を満たし合う福祉』へ」をキーワードにお話しし、皆さんと共に考えたいと思います。

日時：2020 年 1 月 11 日(土)14:00～17:00

場所：ウイングス京都セミナーB

(京都市中京区東洞院通六角下御射山町 262)

費用：500 円

(京都精神保健福祉士協会・日本精神保健福祉士協会京都府支部構成員は無料)

お問い合わせ先：

京都精神保健福祉士協会事務局 Mail:office@kyo-psw.org Fax:748-1507

日本精神保健福祉士協会京都府支部事務局(相談支援事業所むろまち内) Mail:japsw.kyoto@gmail.com Fax:252-0055